

磐城時報

福島縣磐城郡平町新田十四
印刷 廣田 弘成
印刷所 加納 清成
印刷所 加納 清成
印刷所 加納 清成
印刷所 加納 清成

平第三小學校に御眞影傳達

平町第三小學校では昨年御眞影の傳達を申請中であつたが、二月三日縣廳を通じ傳達される事になつた。當日は伏見町長、赤津校長が出縣拜受して午後三時五十三分平町到着の豫定である。

石城民政黨の役員決定

石城民政黨總會は昨報の如く二十五日午後一時から平町に開き總選舉に對し比佐昌平氏を推す事に決定した。役員を左の如く改選した。

▲部會長 鷲清昇 ▲副會長 吉田 五平、石川 徳壽 ▲幹事長 萩原 義雄 ▲評議員 會長 草野 三郎 ▲同副會長 小松 章 ▲政務調査會 田 田 田 ▲同副會長 長金 澤 ▲新附した。

理想郷實現へ邁進する永戸、箕輪 農村不況打開策として

石城郡山間部は數年來不況續きた結果農業を合理的に經營すべき住民は四苦八苦の状態にある事が第一である意見があり、各村當局で挽回策を講じたので各部落毎に農事實行であつたが、永戸、箕輪組合村組合を組織する事となり農業五では二十五日午前十時から同村訓を制定した。村民は自力に役場に村内有力者を集め農村不況打開策について打合せを込める。

江政會總會

石城郡江名町江政會では二十六日午後一時から同町公會堂で總會を開き對選舉策について協議した。

交友會總會

石城郡上遠野村交友會では二十六日午後一時から同町公會堂で總會を開き對選舉策について協議した。

工場小火

平町自働車で平町に來り南町某カフエーで費消し無一文になつて工場から廿六日午前五時頃發火した。火が大事に至らず消止めたを平署に捕はれた。

錦村の米共同販賣

錦村の米共同販賣は一俵八圓卅錢に上る。石城郡錦村では二十五日午後一時から同町米穀倉庫で米共同販賣を行つた。出品二百八十八俵のうち四等米五俵、五等米百八俵、外米百七十五俵で價格在橋本技術を通じ各村長にこの作してある小作人は昨年の不凶に困難を感じてゐる。

米穀擔保の低利資金

石城郡農會では縣農工銀行を經て貸付ける米穀擔保の低利資金借入希望者を物色中であるが、縣内に貸付けらる額二十萬圓年利五分以内である。

凶作資金貸付

石城 昨午十月頃同町隔離病舎に派出おちる一月九日大久保巡査は不始末からである。

主人の木炭運搬中捨て賣りして遊興 無一文になつて泥棒

石城郡小名濱町字松中木炭商隆方雇人安田那丸守村大字安子ケ島生れ佐藤伊之松(三二)は去一月五日から前記郷方に雇はれ木炭運搬の荷馬車を挽いてゐたが、二十二日主人の命により運搬する途中湯本町に差し掛つた際悪心を起し一俵二十五錢から三十五錢で十數軒に三俵を捨賣りし十圓余を懐にし自動車で平町に來り南町某カフエーで費消し無一文になつて工場から廿六日午前五時頃發火した。火が大事に至らず消止めたを平署に捕はれた。

空軍費寄附

磐城中學では全生徒から十錢づつを徴金わが空軍補充の万分の一に資することとなり目下取扱は最近同僚某に對し左の如き書を一紙に附した。

捕賊賞

平署署見鳥島鶴吉、佐藤雅之助、宗像政雄、江島寛、林源松、金田寛、猪狩勇次郎、菊地啓次、各巡査は窃盗犯人馬場嘉吉、鈴木庄次、小田一二、賭博犯鈴木丑太郎、佐藤勝三郎、渡邊保吉、詐欺犯吾妻岩藏を逮捕した功により二十六日知事から金一封を褒え表彰された。

飯野小作民小作料不納

石城郡飯野村大字南白土、北白土納村の整理に着手したが、同村は昨年非常な不作であつたので、原因は極端な寒からである。原因は極端な寒からである。原因は極端な寒からである。

箕輪方面村税整理

石城郡箕輪村では二十五日から草野、渡邊兩書記全村に亘り未納村税の整理に着手したが、同村は昨年非常な不作であつたので、原因は極端な寒からである。

用水堀に墜死

石城 北海道道生れ清光二女小野トキヨ、四ツツは二十四日午後一時頃自宅物見岡貯水池附近で遊戯中轉落溺死した。

平町人事

出生 月見町當時澤渡村中寺若松 雄二男不彦、田町金子重次 三男顯三郎、鎌田町當時淺草 區玉姫町藤岡藤吾二男行夫 材木町當時神谷村鎌田面時雄 長女ヨシ子 婚 三丁目目勝次郎(二六)赤井 村船生カ子(二二)

好問の火事

石城郡好問村北川某方から二十四日午後零時半頃發火大事に至らず消止めた、原因は食仕度度の火の不始末からである。

元江名町駐在巡查が看護婦と情死を計る 隔離病舎で知り初め 妻子を捨て、家出し

石城郡江名町大字中之作駐在看護婦として働いてゐた相馬郡平警察署巡查大久保直八(三六)は、大妻村生れ原よし(二四)と戀に消止めた、原因は食仕度度の火の不始末からである。

磐城水産工業 礦油タンク

小名濱町磐城水産工業會社礦油部で着工中の泉驛前及び築港二ヶ所の何れも三十噸二百四十石入の三個の礦油タンクはこの程落成したので二十五日午後五時から同町新米旅館で各關係官衛船主等百餘名を招待盛大な落成式を擧げたが、このタンクの新設によつて同港に出入の船舶は給油上非常に便益を受け向は十五噸と十噸の二隻のタンク船を繋留し置き沖合に碇船への給油にも一層の便宜を興へることになつた。

頭蓋骨を發掘

石城 郡大野村玉山農木村清六方で二十四日朝自宅裏の畑を三尺許り掘下けた處人間の頭蓋骨と短刀並に銀製の鏡一面を掘出した。同鏡は裏面に(人見藤重次)と刻印あり少くとも千年以上の古器で同所は以前城址であつた處で部族民は専門家の鑑定を依頼することになつた。

公債 勸業債券

電話賣買 高價買入

御一報次第店員參上可仕候
平町五丁目二二

佐々木株式会社

電話二五三番

冬の洋服

御召替の節となり
ました。
皆様の御氣に召す
品を豊富に取揃へ
て御座ひます。

細目サージ背廣 ¥12.00
ウラスデッド背廣 ¥11.00
黒サージ立襟上 ¥ 5.30
オーパ..... ¥ 4.50

あかや洋服店 平電 203

景品付抽籤賣出し

九升入一本御買上毎に
汁椀貳個入 壹箱
外に抽籤券一枚 呈上

來二月七日(舊正月二日)まで
絶対に値上げ致しません

平町土橋 錦屋酒店 電話二四六番
銀治町 谷口酒店 電話五九〇番
南町 末廣酒店 電話二〇七番
田町 永山酒店

外科専門 X光線科

病室完備 平町南町
上田外科醫院
電話一三九番

耳鼻咽喉科 專 氣管食道科 門

病室完備：自炊の便あり
平町南町 大和田醫院
電話一七〇番

石炭經濟、理想的ストーブ

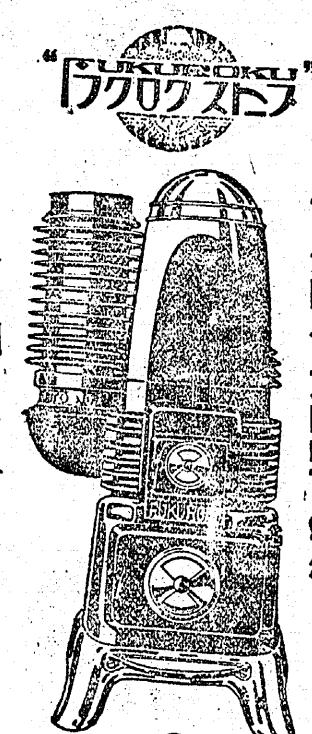
ソレハ石炭商ノ立場ヨリ
多年研究試驗ノ結果

フクロクストーブ

ニ優ルモノナシ

是非御相談下サイ
カタログ持參御説明申上マヌ
電話二三三七番

阿部石炭商店



アンカ「コタツ」に徳用な

木炭代用 たどん

製造元 鈴木炭團製造所
平町古鍛冶町杉ノ澤
平町二丁目(警察署通り)
卸小賣所 魚清水卸部
電話四六七番

尙氷の御注文モ電話四六七番へ

滋強第一 スポニ給

滋強第一
滋強の効
諸大
肉を
血を
ふやし
肉やす

滋強第一
大坂東區全町
本舖 榎屋長命堂
各都府會館食品店

平町五丁目 野山藥局
電話四〇番

度量衡計量器

吸入酸素器

滋養、強壯劑として愈々好評
偉大なる藥酒「栗守酒」
朝の一盃は精力の原、晩の一盃は睡眠の助力

栗守酒特約店 大平屋藥店
代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目(電話四六二)

腸胃 專科

内科 專科
腸十二指腸病
淋病 婦人病
皮膚病 專科

村松 院醫科
(七〇一話電) 町南町平

第四拾營業報告 貸借對照表

資產之部		負債之部	
未拂込資本金	三、七五〇、〇〇〇	資本積立金	五、〇〇〇、〇〇〇
線路屋內工作物	五、九八八、八八五	借入金	一、三二七、七九
機械器具貯藏品	二、三六六、三三	支拂形及未拂金	二、三五、五
土地建物什器	一、三六六、三三	未拂配當金	七、一六六、二
有價証券	八、八六三、三	當期利益金	六、六九五、二八五
受取手形	一、四三三、六八	右之通り二候也	
及未收入形	一、五八一、七七	昭和六年拾貳月卅一日	
發電所勘定	一、四四七、一五	植田水電氣株式	
化學工業部勘定	三、三〇、三三	株主	
預ケ金及現金	三、三三三、三三	平五 山野邊藥局	
合計	六、六九五、二八五		